

## 発 刊 に あ た っ て

本県の水産業は、ここ数年来の経済の高度成長のなかで、産業構造の後進性を露呈しつつ、多くの問題をかかえています。しかし魚価高、サバ、スケソータラ、スルメイカ等の豊漁にささえられて、昭和35年の漁業生産量22万4千トン、生産金額にして76億円だったのが、その後生産量、金額共に順調な伸びを示し、45年には生産量52万6千トン、生産金額273億1,100万円となっています。近年陸奥湾を中心とするホタテガイの増養殖事業が著しく盛んとなり、昭和43年2億円、44年8億3千万円、45年には生産金額11億円を示して、第4位に進出し、本県栽培漁業のトップになっています。陸奥湾以外の地域にも、浅海増養殖に対する熱意が高まり、又他県との技術交流が盛んになるにつれ、従来漁船漁業に依存してきた地域にも、コンブ、ワカメ、アワビ、ホタテガイ、その他の増養殖について関心が高まっています。

そういう状況下において、長期にわたる発展と安定への道を開くためには、これを裏付ける技術の確立が必要であるとの結論に立って、昭和27年以来むつ市大湊にあって、陸奥湾の浅海増養殖の基礎研究をやって来た陸奥湾水産増殖研究所を廃止し、昭和43年4月、第1次沿岸漁業構造改善事業との関連もあって、平内町茂浦に青森県水産増殖センターが建設され、新しく発足することになりました。

当所では、開設以来本県沿岸漁業特に浅海増養殖の振興開発を目的として、それらの技術開発についての調査研究並びに種苗生産事業を実施して来ました。

本報告書は、当所の事業の概要を報告するものでありまして、従来は青森県陸奥湾水産増殖研究所業務報告書として刊行してきました。今回以後は、装いを新しくして青森県水産増殖センター事業概要と改題して、刊行することにいたしました。

皆様の御批判、御指導を賜りますれば、誠に幸と存じます。

昭和46年12月

青森県水産増殖センター

所 長 津 幡 文 隆